

各 位

会社名 株式会社ダスキン
代表者名 代表取締役社長 山村 輝治
(コード番号：4665 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 鶴見 明久
電話 06-6821-5071

自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ

当社は、平成27年5月15日開催の取締役会において、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下、「会社法」といいます。）第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付け（以下、「本公開買付け」といいます。）を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 買付け等の目的

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置付け、安定した配当を毎期継続的に行うことを基本方針とし、更に、経営成績及び今後の事業展開、健全な経営体質維持のために必要な内部留保の確保等を勘案のうえ、当期の配当額を含む利益還元施策の実施を決定しております。また、当社は、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって、市場取引等により自己の株式を取得することができる旨を定款に定めており、平成27年3月期においては、平成26年11月4日に自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付けの方法により280,400株、平成26年11月5日から平成27年1月28日にかけて信託方式による市場買付けの方法により750,000株の自己株式の取得を実施しております。加えて、平成27年3月26日に当社が公表いたしました平成28年3月期を初年度とする「中期経営方針2015」におきましては、コーポレート・ガバナンス強化に向けた取り組みに関連して、資本効率を常に意識し更に改善に努めると共に、一層株主利益に資する資本政策を随時検討していくこととしております。

かかる方針に従い、株主の皆様への利益還元の更なる強化策を検討した結果、一定量の自己株式の取得は、当社の1株当たり当期純利益（EPS）や自己資本当期純利益率（ROE）等の資本効率向上に寄与し、株主利益に資するものであるとの判断に至りました。また、自己株式の取得方法として、市場買付けの方法によることとした場合には買付数量が限定的とならざるを得ませんが、大株主が保有する当社普通株式（以下、「当社株式」といいます。）の一部を取得するのであれば、流動性を損ねることなく比較的短期間に相当規模の自己株式を取得できると判断いたしました。

そこで、平成27年3月中旬に、当社株式を200,000株以上保有する上位株主複数社に打診し、意向を確認しつつ、その実行に向けた具体的な方法の検討を進めてまいりました。その結果、株主の皆様が本公開買付けの期間（以下、「公開買付け期間」といいます。）中に、市場価格動向を見ながら応募する機会を確保できる公開買付けの方法が、株主間の平等性、取引の透明性の観点から最も適切であると判断いたしました。また、当社株式は、株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」といいます。）に上場されていることから、本公開買付けにおける買付け等の価格（以下、「買付価格」といいます。）の決定に際しては、基準の明確性及び客観性を重視し、当社株式の市場価格を重視すべきであると考えました。そのうえで、本公開買付けに応募せず、当社株式を保有し続ける株主の皆様の利益を尊重する観点から、資産の社外流出をできる限り抑えるべく、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買い付けることが望ましいと判断いたしました。

その後当社は、当社の財務状況、過去の自己株式の公開買付けにおける事例を精査することによりディスカウント率を検討したうえで、平成27年3月中旬から5月上旬に、市場価格を基礎として3%ディスカウントした価格で当社が本公開買付けを実施した場合の応募可否を、当社株式を200,000株以上保有する上位株主を中心とした複数社に確認したところ、下記「応募予定株主及び応募予定株数」に記載の15社（以下、「応募予定株主」といいます。）より、それぞれが保有する株式の一部（合計2,768,500株、発行済株式総数に対する割合4.36%（小数点以下第三位

を四捨五入。以下、発行済株式総数に対する割合に関する計算において同じ。)) について応募する旨の回答を得ました。同時に、応募予定株主が本公開買付け後も保有することとなる当社株式については、今後も継続的に保有する方針であるとの説明を受けました。

なお、本公開買付けに要する資金については、全額自己資金を充当する予定であります。平成27年3月31日現在における手元流動性（現金及び預金並びに短期有価証券）は約423億円であり、本公開買付けの買付資金として約100億円を充当した後も、手元流動性は十分確保でき、更に、事業から生み出されるキャッシュ・フローも一定程度蓄積されることが見込めるため、当社の財務健全性及び安全性は今後も維持できるものと考えております。

以上の検討及び判断を経て、当社は、平成27年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、応募予定株主以外の株主の皆様にも応募の機会を提供するという観点を加味したうえで、5,000,100株（発行済株式総数に対する割合7.87%）を上限とした自己株式の取得及びその具体的な取得方法として本公開買付けを行うこと、並びに買付価格を本公開買付けの実施を決議した取締役会の前営業日（平成27年5月14日）までの過去3ヵ月間の当社株式の終値の単純平均値2,065円（小数点以下を四捨五入）に対して3%のディスカウント率を適用した2,003円（小数点以下を四捨五入）とすることを決議いたしました。

なお、本公開買付けにより取得した自己株式の処分等の方針は、現時点においては未定であります。

[応募予定株主及び応募予定株数]

株主順位	応募予定株主	本日現在の保有株式数	応募予定株式数	当社との関係
第4位	日本製粉株式会社	2,000,000株 (3.15%)	200,000株 (0.31%)	取引先
第9位	日本水産株式会社	1,125,000株 (1.77%)	337,500株 (0.53%)	取引先
第10位	株式会社モスフードサービス	1,051,000株 (1.66%)	291,000株 (0.46%)	取引先
第11位	ロイヤルホールディングス株式会社	1,050,000株 (1.65%)	295,000株 (0.46%)	取引先
第13位	大和ハウス工業株式会社	1,000,000株 (1.57%)	300,000株 (0.47%)	取引先
第16位	東京海上日動火災保険株式会社	625,000株 (0.98%)	312,500株 (0.49%)	取引先
第20位	江崎グリコ株式会社	600,000株 (0.94%)	180,000株 (0.28%)	取引先
第25位	株式会社カネカ	500,000株 (0.79%)	150,000株 (0.24%)	取引先
第29位	三井生命保険株式会社	375,000株 (0.59%)	187,500株 (0.30%)	取引先
第35位	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	300,000株 (0.47%)	150,000株 (0.24%)	取引先
第35位	ニッタ株式会社	300,000株 (0.47%)	90,000株 (0.14%)	取引先
第41位	株式会社池田泉州銀行	250,000株 (0.39%)	125,000株 (0.20%)	取引先
第41位	株式会社千趣会	250,000株 (0.39%)	75,000株 (0.12%)	取引先
第47位	西日本電信電話株式会社	225,000株 (0.35%)	67,500株 (0.11%)	取引先
第240位	東日本電信電話株式会社	25,000株 (0.04%)	7,500株 (0.01%)	取引先
	合計	9,676,000株 (15.24%)	2,768,500株 (4.36%)	—

(注1) 括弧内の数値は、本日現在の発行済株式総数 63,494,823株に対する割合です。

(注2) 大株主の順位については、平成27年3月31日現在の株主名簿に基づいております。

2. 自己株式の取得に関する取締役会決議内容

(1) 決議内容

種類	総数	取得価額の総額
普通株式	5,000,100株 (上限)	11,500,000,000円 (上限)

(注) 1. 発行済株式総数 63,494,823株 (平成27年5月15日現在)

2. 発行済株式総数に対する割合 7.87%

3. 取得する期間 平成27年5月18日 (月曜日) から平成27年9月30日 (水曜日) まで

(2) 当該決議に基づいて既に取得した自己の株式に係る上場株券等

該当事項はありません。

3. 買付け等の概要

(1) 日程等

①取締役会決議	平成27年5月15日（金曜日）
②公開買付開始公告日	平成27年5月18日（月曜日） 電子公告を行い、その旨を日本経済新聞に掲載します。 （電子公告アドレス http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/ ）
③公開買付届出書提出日	平成27年5月18日（月曜日）
④買付け等の期間	平成27年5月18日（月曜日）から 平成27年6月15日（月曜日）まで（21営業日）

(2) 買付け等の価格

普通株式1株につき金2,003円

(3) 買付け等の価格の算定根拠等

①算定の基礎

当社は、買付価格の算定に際しては、当社株式が金融商品取引所に上場されていること、上場会社の行う自己株式の取得が金融商品取引所を通じた市場買付けによって行われることが多いこと等を勘案し、基準の明確性及び客観性を重視し、当社株式の市場価格を基礎に検討を行いました。また、当社株式の市場価格として適正な時価を算定するためには、市場株価が経済状況その他様々な条件により日々変動し得るものであることから、一定期間の株価変動についても考慮することが望ましいこと等を勘案し、東京証券取引所市場第一部における、本公開買付けの実施を決議した取締役会の開催日である平成27年5月15日の前営業日（平成27年5月14日）の当社株式の終値2,036円、同年5月14日までの過去1ヵ月間の当社株式の終値の単純平均値2,064円（小数点以下を四捨五入）、及び同年5月14日までの過去3ヵ月間の当社株式の終値の単純平均値2,065円（小数点以下を四捨五入）を参考にいたしました。

一方で、本公開買付けに応募せず当社株式を保有し続ける株主の皆様の利益を尊重する観点から、資産の社外流出を可能な限り抑えるべく、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買い付けることが望ましいと判断いたしました。ディスカウント率につきましては、当社の財務状況を勘案のうえ、過去の自己株式の公開買付けの事例のうちディスカウントで実施された事例におけるディスカウント率を参考に検討いたしました。

上記の検討を踏まえ、平成27年3月中旬から5月上旬に、当社株式の市場価格を基礎として3%ディスカウントした価格で当社が本公開買付けを実施した場合の応募可否を、当社株式を200,000株以上保有する上位株主を中心とした複数社に確認したところ、応募予定株主より、それぞれが保有する株式の一部（合計2,768,500株、発行済株式総数に対する割合4.36%）について応募する旨の回答を得ました。

以上の検討及び判断を経て当社は、平成27年5月15日開催の取締役会において、本公開買付けを実施すること及び買付価格を本公開買付けの実施を決議した取締役会の前営業日（平成27年5月14日）までの過去3ヵ月間の当社株式の終値の単純平均値2,065円（小数点以下を四捨五入）に対して3%のディスカウント率を適用した2,003円（小数点以下を四捨五入）とすることを決議いたしました。

なお、買付価格である2,003円は、本公開買付けの実施を決議した平成27年5月15日の前営業日（同年5月14日）の東京証券取引所市場第一部における当社株式の終値2,036円から1.62%（小数点以下第三位を四捨五入）、同年5月14日までの過去1ヵ月間の当社株式の終値の単純平均値2,064円（小数点以下を四捨五入）から2.96%（小数点以下第三位を四捨五入）、同年5月14日までの過去3ヵ月間の当社株式の終値の単純平均値2,065円（小数点以下を四捨五入）から3.00%（小数点以下第三位を四捨五入）、それぞれディスカウントした金額となります。

②算定の経緯

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置付け、安定した配当を毎期継続的に行うことを基本方針とし、更に、経営成績及び今後の事業展開、健全な経営体質維持のために必要な内部留保の確保等を勘案のうえ、当期の配当額を含む利益還元施策の実施を決定しております。そして、平成27年3月26日に当社が公表いたしました平成28年3月期を初年度とする「中期経営方針2015」におきましては、コーポレート・ガバナンス強化に向けた取り組みに関連して、資本効率を常に意識し更に改善に努めると共に、一層株主利益に資する資本政

策を随時検討していくこととしております。また、当社は、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって、市場取引等により自己の株式を取得することができる旨を定款に定めております。

かかる方針に従い、株主の皆様への利益還元への更なる強化策を検討した結果、一定量の自己株式の取得は、当社の1株当たり当期純利益（EPS）や自己資本当期純利益率（ROE）等の資本効率向上に寄与し、株主利益に資するものであるとの判断に至りました。また、自己株式の取得方法として、市場買付けの方法によることとした場合には買付数量が限定的とならざるを得ませんが、大株主が保有する当社株式の一部を取得するのであれば、流動性を損ねることなく比較的短期間に相当規模の自己株式を取得できると判断いたしました。

そこで、平成27年3月中旬に、当社株式を200,000株以上保有する上位株主複数社に打診し、意向を確認しつつ、その実行に向けた具体的な方法の検討を進めてまいりました。その結果、株主の皆様が公開買付期間中に、市場価格動向を見ながら応募する機会を確保できる公開買付けの方法が、株主間の平等性、取引の透明性の観点から最も適切であると判断いたしました。また、当社株式は、東京証券取引所に上場されていることから、買付価格の決定に際しては、基準の明確性及び客観性を重視し、当社株式の市場価格を重視すべきであると考えました。そのうえで、本公開買付けに応募せず、当社株式を保有し続ける株主の皆様を尊重する観点から、資産の社外流出をできる限り抑えるべく、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買い付けることが望ましいと判断いたしました。

その後当社は、当社の財務状況、過去の自己株式の公開買付けにおける事例を精査することによりディスカウント率を検討したうえで、平成27年3月中旬から5月上旬に、市場価格を基礎として3%ディスカウントした価格で当社が本公開買付けを実施した場合の応募可否を、当社株式を200,000株以上保有する上位株主を中心とした複数社に確認したところ、応募予定株主より、それぞれが保有する株式の一部（合計2,768,500株、発行済株式総数に対する割合4.36%）について応募する旨の回答を得ました。

以上の検討及び判断を経て当社は、平成27年5月15日開催の取締役会において、本公開買付けを実施すること及び買付価格を本公開買付けの実施を決議した取締役会の前営業日（平成27年5月14日）までの過去3ヵ月間の当社株式の終値の単純平均値2,065円（小数点以下を四捨五入）に対して3%のディスカウント率を適用した2,003円（小数点以下を四捨五入）とすることを決議いたしました。

(4) 買付け予定の上場株券等の数

株式の種類	買付予定数	超過予定数	計
普通株式	5,000,000株	一株	5,000,000株
合計	5,000,000株	一株	5,000,000株

(注) 1. 本公開買付けに応じて売付け等をした株券等（以下、「応募株券等」といいます。）の数の合計が買付予定数（5,000,000株）を超えないときは、応募株券等の全部の買付けを行います。応募株券等の数の合計が買付予定数（5,000,000株）を超えるときは、その超える部分の全部又は一部の買付け等を行わないものとし、金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。以下、「法」といいます。）第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第5項及び発行者による上場株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令（平成6年大蔵省令第95号。その後の改正を含みます。）第21条に規定するあん分比例の方式により株券等の買付け等に係る受渡しその他の決済を行います。

2. 単元未満株式についても、本公開買付けの対象としています。なお、会社法にしたがって株主による単元未満株式買取請求権が行使された場合には、当社は法令の手続に従い公開買付期間中に自己の株式を買い取る場合があります。

(5) 買付け等に要する資金

金10,049,000,000円

(注) 買付予定数（5,000,000株）を全て買付けた場合の買付代金に、買付手数料及びその他費用（本公開買付けに関する公告に要する費用及び公開買付説明書その他必要書類の印刷費用等の諸費用）の見積額を合計したものです。

(6) 決済の方法

① 買付け等の決済をする金融商品取引業者・銀行等の名称及び本店の所在地

大和証券株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

② 決済の開始日

平成27年7月7日（火曜日）

③ 決済の方法

公開買付期間終了後遅滞なく、買付け等の通知書を応募株主等（外国人株主等の場合は常任代理人）の住所又は所在地宛に郵送します。

買付けは、現金にて行います。買付代金より適用ある源泉徴収税額（注）を控除した金額を決済の開始日以後遅滞なく、公開買付代理人から応募株主等（外国人株主等の場合はその常任代理人）の指定した場所へ送金するか、応募受付をした公開買付代理人の本店又は全国各支店にてお支払いします。

(注) 公開買付けにより買付けられた株式に対する課税関係について

税務上の具体的なご質問等は税理士等の専門家にご相談いただき、ご自身でご判断いただきますようお願い申し上げます。

イ. 個人株主の場合

(イ) 応募株主等が日本の居住者及び国内に恒久的施設を有する非居住者の場合

本公開買付けに応募して交付を受ける金銭の額が、公開買付者の資本金等の額（連結法人の場合は連結個別資本金等の額）のうちその交付の基因となった株式に対応する部分の金額を超過する場合は、当該超過部分の金額を配当所得とみなして課税されます。当該配当所得とみなされる金額については、原則として20.315%（所得税及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号。その後の改正を含みます。）に基づく復興特別所得税（以下、「復興特別所得税」といいます。）15.315%、住民税5%）に相当する金額が源泉徴収されます（国内に恒久的施設を有する非居住者にあつては、住民税5%は特別徴収されません。）。ただし、租税特別措置法施行令（昭和32年政令第43号。その後の改正を含みます。）第4条の6の2第12項に規定する大口株主等（以下、「大口株主等」といいます。）に該当する場合には、20.42%（所得税及び復興特別所得税のみ）に相当する金額が源泉徴収されます。また、本公開買付けに応募して交付を受ける金銭の額から、配当所得とみなされる金額を除いた部分の金額については株式等の譲渡収入となります。譲渡収入から当該株式に係る取得費を控除した金額については、原則として、申告分離課税の適用対象となります。

なお、租税特別措置法（昭和32年法律第26号。その後の改正を含みます。）第37条の14（非課税口座内の少額上場株式等に係る譲渡所得等の非課税）に規定する非課税口座（以下、「非課税口座」といいます。）の株式等について本公開買付けに応募する場合、当該非課税口座が開設されている金融商品取引業者等が大和証券株式会社であるときは、本公開買付けによる譲渡所得等については、原則として、非課税とされます。なお、当該非課税口座が大和証券株式会社以外の金融商品取引業者等において開設されている場合には、上記の取り扱いと異なる場合があります。

(ロ) 応募株主等が国内に恒久的施設を有しない非居住者の場合

配当所得とみなされる金額について、15.315%（所得税及び復興特別所得税のみ）の額が源泉徴収されます。なお、大口株主等に該当する場合には、20.42%（所得税及び復興特別所得税のみ）の額が源泉徴収されます。また、当該譲渡により生じる所得については、原則として、課税されません。

ロ. 法人株主の場合

みなし配当課税として、買付価格が1株当たりの資本金等の額を超過する部分について、その差額に対して原則として15.315%（所得税及び復興特別所得税のみ）に相当する金額が源泉徴収されます。また、さらに本人確認書類をご提出いただくことになります。

なお、外国人株主のうち、適用ある租税条約に基づき、かかるみなし配当金額に対する所得税及び復興特別所得税の軽減又は免除を受けることを希望する株主は、公開買付代理人に対して平成27年6月15日までに租税条約に関する届出書等をご提出下さい。

(7)その他

①本公開買付けは、直接間接を問わず、米国内において若しくは米国に向けて行われるものではなく、また、米国の郵便その他の州際通商若しくは国際通商の方法・手段（電話、テレックス、ファクシミリ、電子メール、インターネット通信を含みますが、これらに限りません。）を利用して行われるものではなく、米国内の証券取引所施設を通じて行われるものでもありません。上記方法・手段により、若しくは上記施設を通じて、又は米国内から本公開買付けに応募することはできません。

また、公開買付届出書又は関連する買付書類は米国内において若しくは米国に向けて、又は米国内から、郵送その他の方法によって送付又は配布されるものではなく、かかる送付又は配布を行うことはできません。上記制限に直接又は間接に違反する本公開買付けへの応募はお受けしません。

本公開買付けに応募する方はそれぞれ、以下の表明及び保証を行うことを要求されることがあります。

応募株主等が応募の時点及び公開買付応募申込書送付の時点のいずれにおいても、米国に所在していないこと、本公開買付けに関するいかなる情報又は書類（その写しを含みます。）も、直接間接を問わず、米国内において、若しくは米国に向けて、又は米国内からこれを受領したり送付したりしていないこと、買付け若しくは公開買付応募申込書の署名ないし交付に関して、直接間接を問わず、米国の郵便その他の州際通商若しくは国際通商の方法・手段（電話、テレックス、ファクシミリ、電子メール、インターネット通信を含みますが、これらに限りません。）又は米国内の証券取引所施設を使用していないこと、及び、米国における本人のための、裁量権を持たない代理人又は受託者・受任者として行動する者ではないこと（当該本人が本公開買付けに関する全ての指示を米国外から与えている場合を除きます。）。

②当社は、平成27年3月中旬から5月上旬に、応募予定株主（合計保有株式数9,676,000株、発行済株式総数に対する割合15.24%）より、当社が本公開買付けの実施を決議した場合には、それぞれが保有する当社株式の一部（合計2,768,500株、発行済株式総数に対する割合4.36%）について、本公開買付けに応募する旨の回答を得ております（詳細については、前記「1 買付け等の目的」をご参照下さい。）。同時に、応募予定株主が本公開買付け後も保有することとなる当社株式については、今後も継続的に保有する方針であるとの説明を受けております。

③当社は、平成27年5月15日付で「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」を公表しております。当該公表に基づく当社の決算短信の概要は以下のとおりです。なお、当該内容につきましては、法第193条の2第1項の規定に基づく監査法人の監査証明を受けておりません。詳細につきましては、当該公表の内容をご参照下さい。

平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）の概要

（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

イ. 損益の状況

決算年月	平成27年3月期（第53期）
売上高	167,987百万円
営業利益	5,067百万円
経常利益	7,083百万円
当期純利益	3,441百万円

ロ. 1株当たりの状況

決算年月	平成27年3月期（第53期）
1株当たり当期純利益	56.19円
1株当たり配当額	40円
1株当たり純資産額	2,544.09円

(ご参考) 平成27年4月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数 (自己株式を除く)	60,547,306株
自己株式数	2,947,517株

以上

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

株式会社ダスキン 広報部 電話 06-6821-5006